

9/1号



勞報甲第ニ八六號

大正十二年十一月十四日

警視總監湯淺倉平

内務大臣後 藤新平殿  
 臨時震災救護事務局副總裁殿  
 東京警備司令官小梨半造殿  
 社會局長官池田 宏殿  
 京師、大隊、兵庫、神奈川、愛知  
 福岡、廣島、岡山、各府縣知事殿  
 司法省刑事事務局長殿  
 東京控訴院檢事長殿  
 東京地方裁判所檢事正殿

要亦書の回とつに運ゆるに横暴に臨時休業を宣告した。また左  
 時に本館を名のり十数人に討つて何等の理由なく解雇の書面郵便  
 を寄送した。実にシヤクにさゆつたがた。

コレ達は何も血をみずしてその解決のなす全力を奮つて努力した  
 今ではこれは無用だ。金銭的にお金を貸してあげた。回答は、ま  
 りに後方ち労働者を不意にたのた。コレ達もこの胸の中は一へんに爆発  
 した。コレ達もシヤクの出は一考に飛出した。コレ達は仕勝を期して徹  
 底的に、あまを不意にやこも今つてに宣言する。

資本家共がコレ達に討つる階級の手段があるは、コレ達には、資本家共  
 に向ふ階級の手段がある。コレ達は今、血と汗を振りぬらした報は、  
 してやる。ふんぬり血の汗をぬらした。

大正十二年十一月五日

東京地方裁判所  
 東京控訴院  
 司法省  
 東京警備司令官  
 京師、大隊、兵庫、神奈川、愛知  
 福岡、廣島、岡山、各府縣知事  
 臨時震災救護事務局副總裁  
 内務大臣後 藤新平殿

